

**製品名: クローディン 1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21480**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:22kD;Observed MW:19kD

**抗原情報**

遺伝子名	CLDN1
別名	CLDN1;CLD1;SEMP1;Claudin-1;Senescence-associated epithelial membrane protein
遺伝子 ID	9076.0
SwissProt ID	O95832
免疫原	ヒトクローディン 1 の合成ペプチド

**背景**

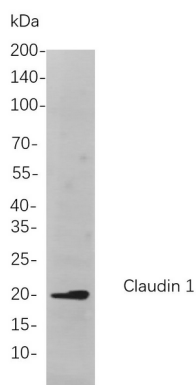
細胞局在: 膜。タイトジャンクションは、上皮細胞または内皮細胞シートにおける細胞間接着の一形態であり、細胞の周囲に連続的なシールを形成し、溶質や水が細胞間空間を自由に通過するのを防ぐ物理的な障壁として機能します。これらのタイトジャンクシ

ンは、外側を向いた細胞質リーフレットに連続したネットワーク鎖の集合体と、内側を向いた細胞質外リーフレットに相補的な溝で構成されています。この遺伝子によってコードされるタンパク質はクローディングファミリーに属し、膜貫通タンパク質であり、タイトジャンクション鎖の構成要素です。機能喪失変異は新生児魚鱗癬・硬化性胆管炎症候群を引き起こします。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



Claudin 1 Rabbit mAb を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。